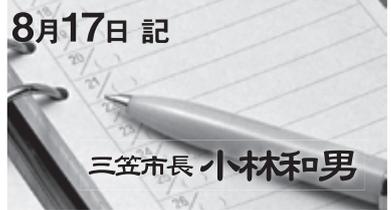


市長室



終戦記念日の

意味するもの

8月14日・15日に開催された第11回「三笠北海盆おどり」も無事に終了することができホッとしているところですが。

北海道の歴史文化遺産に認定を受け再開された「三笠北海盆おどり」は多くの関係者の努力によって年々その参加者数も増加してきています。実行委員会の調べによると仮装盆おどり参加者は団体で11組97人、個人は79人と伺っております。昨年より確実に上回っている状況で来場者も14日・15日の2日間で13,800人に達しました。

また仮装コンクールでは、それぞれアイデアを凝らした衣裳などをまとい、毎年素晴らしい仮装踊りが観客を魅了しています。

さて、この盆踊りの日(8月15日)は「終戦記念日」です。今年には終戦の昭和20年から数えて67年目になります。私がおその日を迎えたのは小学4年生のときでしたが、これからどうなるのだろうかと両親や姉たちが心配そうに話していたことを今でもはっきりと記憶しています。

今年も例年どおり天皇、皇后両陛下をお迎えして「日本武道館」で約310万人に上る戦没者を慰霊する「全国戦没者追悼式」が開かれました。この追悼式には戦没者遺族のほか、野田首相をはじめ各界の代表など約6,000人が参加したといえます。

この追悼式で天皇陛下は「(略)先の大戦においてかけがえのない命を失った数多くの人々とその遺族を思い、深い悲しみを新たにいたします。(略)ここに歴史を顧み、戦争の惨禍が再び繰り返されないことを切に願ひ、全国民と共に、陣に散り戦禍に倒れた人々に対し、心から追悼の意を表し、世界の平和と我が国の一層の発展を祈ります。」と述べられました。

この8月15日は、私たち日本人が再び戦争を繰り返さないことを誓った日でもあります。その意味において、この盆踊りは戦争で亡くなった人ばかりではなく、かつての炭鉱・交通事故などで亡くなったすべてのか

たがたの「供養の日」のひとつである自分はいつも思ってきました。

ところが最近、近隣諸国のナショナリズムの台頭と思われるも仕方がない行動が目立っています。8月16日付の朝刊には「尖閣諸島」に香港の民間人が領海を侵犯し一部上陸、逮捕された記事が掲載されています。また、先日は韓国の李大統領が天皇に謝罪を求めようとする発言を行い、その上、「竹島」に自ら乗り込みました。さらにその前は、北方領土にロシアの大統領が訪問するなど近隣諸国が日本に対し、国際法を無視するような行動を繰り返しております。これが増長すると、先の大戦を引き起こした「軍国主義」に象徴されるような「ナシヨナリズム」を抑えることができないような事態になるのではないかと心配しております。

さて、9月22日(土)は彼岸の中日(秋分の日)です。昔から「暑さ寒さも彼岸まで」という慣用句がありますが、今年の異常気象には過去のデータはまったく参考になりません。

これから寒暖の差が激しい日もあると思いますので、体調には十分に気を付けて丈夫な体をつくって冬に備えましょう。

農作物の生育状況も順調のようです。豊穡の秋を期待しています。



秋の交通安全運動

9月21日(金)～30日(日)

これからの時季は日が暮れるのが早く、夜間にかけての交通事故が発生しやすくなることから、次の日程で交通安全を呼び掛けます。

実施日	時間	場所
9月21日(金)	午前11時	幌内駐在所前
22日(土)	〃	竹次ふとん店横
24日(月)	〃	岡山駐在所前
25日(火)	〃	幾春別消防センター横
27日(木)	〃	サンクス三笠幸町店前【※】
28日(金)	〃	唐松駐在所前
30日(日)	〃	巴ハイヤー前

【※】サンクス三笠幸町店前では、藤幼稚園の園児がドライバーにメッセージカードを手渡し、交通安全を呼び掛けます。

※雨天の場合は中止します。

【問合せ】生活安全センター交通防災係 ☎②7777